

令和6年度 磐田市立南部中学校 学校評価書

各項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「思わない」の4段階でアンケートを取りました。2学期末のアンケート(生徒・保護者・教師)の回答から、各質問項目において「そう思う」及び「だいたいそう思う」と回答したものを合わせた割合を記載してあります。この結果を、来年度の教育課程編成に生かしていきたいと思っております。

1 【豊かな心】 (生活部)		生徒(%)	生徒 前年比	保護者(%)	教師(%)	成果○と課題▲ (主にピンクの網掛けの数値について)	学校運営協議会としての意見
1	学校が楽しいと思う。	94.1	3.2	89.3	91.3	○生徒の数値では、8項目のうち5項目が90%を超える結果となった。これらの数値は昨年度に引き続き、高い数値結果を維持できた。休み明けの欠席が少なく、ルールを守って、落ち着いた学校生活を送ろうとする意識が高いことが読み取れる。 ○先生が話を聞いてくれ、理解してくれていると思う生徒の割合も高く、安心して過ごしていることも読み取れる。 ○No.7の項目の数値も高く、保護者の方がお子さんに関わり、そばで見守ってくださっており、南部中の強みと言える。 ○No.2の挨拶や返事については、生徒・保護者の数値が高く、挨拶ができて意識が高い。教師の数値も昨年度より数値が上がっており、挨拶や返事ができる生徒が増えていると感じている。今後も、学校内だけでなく、地域や社会の人に対しても挨拶ができるよう声をかけていきたい。 ▲No.8の施設・設備については、昨年度より数値が低かった。3・4階のトイレの改修や、エアコンのついていない特別教室へのエアコン設置などに市に訴えていかなければいけないものや、教室内の扇風機の修理などの声が聞かれた。引き続き、校内外の危険箇所の点検を行い、安心・安全に過ごすことができる環境整備に努めたい。	・いずれも高い数値を維持している点で安心している。No1の数値が高いこともすばらしく、授業の雰囲気からも互いに協力し、助け合い、尊重し合った生活が送れていることが分かる。 ・学校での教師と子どもたちの関係、家庭での親子の関係、ともに良い傾向にあり、安心している。 ・No2のような生徒の割合と教師の割合のギャップのある項目や、No5のような教師の割合の方が高い項目に注目し、分析し、改善を図ってほしい。 ・No7の項目で生徒の割合は92.3%であるが、残りの7.7%の生徒へのフォローや寄り添った指導を引き続きお願いしたい。 ・No8の項目は、生徒や先生の過ごす環境という視点では重要な項目である。市へ働きかけていく部分や校内の危険箇所を発見し修繕や対策を講じるようにお願いしたい。
2	挨拶や返事がしっかりできる。	94.4	3.3	87.2	69.6		
3	私たちの学級(学校)は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	93.1	0.3	97.5	91.3		
4	南部中に誇りを持っている。	83.2	0.1	82.1	73.9		
5	学校に相談できる人がいる。	83.2	-1.9	81.0	95.7		
6	南部中学校の先生は、話を聞いてくれ、自分のことをわかってくれている。(子どもを理解し、指導に当たっている)	91.0	2.5	86.4	82.6		
7	家の人とコミュニケーションがとれ、心がつながっていると思う。	92.3	-0.8	90.4	100.0		
8	南部中学校の施設や設備は安心して使える。	80.1	-6.8	88.8	60.9		
2 【豊かな心】 (特別活動部)							
9	生徒会活動や係活動に意欲的に取り組んでいる。	92.0	3.9	84.2	82.6	○No.9,10の数値から、生徒・保護者・教師ともに、生徒会活動や学校行事への取組を高く評価している。学校経営の基本方針の項目の一つ「生徒が主役の学校創り」を目標に、成果として「主体的に行動する生徒」の育成につながったと言える。 ○No.11の数値は、他より低い値であるが、昨年度よりも4.2%上がった。地域の清掃ボランティア活動やイベントの手伝いなどで生徒が自ら地域と関わり、つながっていると感じている。 ▲No.12については、本年度も実施した地元の消防団による防災士講座、障がい者スポーツ体験などを継続して続け、地域の人と関わり、地域のことを学ぶ機会を作っていきたい。	・生徒が主体的に行事に関わっている姿はすばらしいことである。地域部の活動する姿を目にすることもあり、とても頼もしく感じている。 ・学校、地域、家庭のつながりを大事にし、さらに生徒たちが祭典や交流センターまつり、地域の美化活動に参加できるように地域の受け皿を整えたり、参加するように継続して促したりする必要がある。 ・地域で子どもたちを大人へと育て、大人になっても地域の中で生きていくことを伝えていってほしい。 ・地域の人を講師に出前講座を開く機会を増やしていってほしい。
10	躍友祭・緑友祭等の行事(練習・当日)に一生懸命に取り組んでいる。	99.2	1.9	96.4	100.0		
11	地域の行事やボランティア活動に参加している。	63.0	4.2	57.3	73.9		
12	今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	50.0	-1.9	32.9	30.4		
3 【確かな学力】 (学習部)							
13	授業の内容がよく分かる。	89.4	4.4	61.8	69.6	○No.13・14・15の数値が前年度よりも上がり、学校経営の基本方針の項目の一つ「主体的な学び手を育てる授業創り」を目標に、成果として「主体的に学ぶ生徒」の育成につながったと言える。しかし、教師の評価からも伺えるように、教師側は現状に満足はしておらず、1割の生徒がよく理解していないという結果に注目し、校内研修を充実させ、継続して授業改善に取り組んでいきたい。 ▲No.21の教師の数値が低いことから、宿題の効果的なやり方やその意図を明確にすることで主体的な学びにつなげ、基礎学力の向上にもつながるように工夫する必要がある。 ▲No.16・17については、今年度も英語の授業で話すことに重きをおきながら、英会話力の育成に努めた。今後は小学校との連携をより深めるなど工夫した指導で、話す力、聞く力、書く力の育成を目指し、総合的な英語力をつけていきたい。 ○No.18・19については、前年度より数値が下がっているが、90%近くの生徒が、タブレットを使いこなしていると言える。今後も、総合的な学習の時間(あじさい学習)の調べ学習やレポート作成、発表のツールとしてタブレットを活用し、効果的に利用する活動を取り入れていきたい。	・No13やNo14数値がアップしたことが、No1やNo2の数値アップにもつながっており、良い傾向である。 ・授業参観を通して、落ち着いた授業が見られ、安心した。タブレットを使い、考えを深めたり、友達の考えと比べたりしている姿が見られ、使い方が行きわたっていると感じた。また、英会話で会話している姿もあり、よかった。 ・家庭での様子を見ると、勉強の仕方が身に付いていないように見受けられる。計画の立て方、テスト後のふり返りのところまで、PDCAサイクルのCAの部分への指導が必要である。 ・一般的に保護者の数値が低いが、これは親として更に学力を高めてほしいという期待値であろう。家庭学習への取組など、来年度も引き続き指導をお願いしたい。
14	授業中に先生や友達の話聞き、すすんで自分の考えを表している。	75.0	4.1	50.9	65.2		
15	すすんで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している。	72.3	0.4	50.0	52.2		
16	ALTとの英語の授業を通して、英語への関心が高まっている。	74.7	-1.9	49.1	87.0		
17	英会話の力が伸びている。ゆっくりでも英語で相手に自分の思いを伝えることができる。英語で話す相手の言葉を理解できる。	79.5	1.2	41.0	65.2		
18	あじさい学習では、自分で課題を立て、情報を集めて整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	87.2	-1.6	59.7	78.3		
19	パソコン等を使い、自分の考えをまとめたり、伝えたりすることができる。	92.3	-0.8	79.1	95.7		
20	授業や家庭学習で、タブレットやパソコンなどを使って学習に取り組んでいる。	88.6	1.3	67.7	91.3		
21	毎日家庭学習(宿題や塾での学習も含む)に取り組んでいる。	85.6	0.2	71.8	47.8		
4 【たくましい体】 (生活部<保健>)							
22	何か夢中に取り組んでいるものがある。(部活動・社会体育・習い事など)	86.7	3.8	73.9	86.4	○No.22の数値から、地域部の活動が2年目を迎え、学童保育の手伝いなど地域と連携した活動に参加したり、個々の部活動や社会体育に参加したりし、充実した活動ができていていると言える。 ▲No.23については、前年度より下回った。その要因としては、タブレットなどのメディア使用により、就寝時刻が遅くなっていることが予想される。学府で取り組むメディアコントロール週間や健康の日の健康指導を利用し、家庭でも連携し、生活習慣を見直すことを促していきたい。	・生活リズムを整えることは、健康に過ごす上で、とても大切なしなければならないことである。生徒たちが意識して生活できるよう今後もご指導をお願いしたい。 ・体を動かし、食事をきちんと取ることで、脳力を鍛えることにもつながる。家庭でも積極的に外に出て体を動かすよう働きかけていきたい。
23	規則正しい生活リズム(食事、運動、睡眠)が身についている。	75.8	-3.4	75.4	65.2		
24	給食時の放送や食育指導を通して、食に関する意識が高まっている。	78.5	3.8	57.9	65.2		
5 【保護者】							
25	南部中で目指している子どもの姿や教育内容について知っている。			66.8		○No.26の数値から、積極的な情報発信が成果につながった。今後も、学校や生徒の活動の様子、教育内容について積極的に発信し、保護者との協力関係を強化していきたい。	ホームページを見て、学校の様子を民生児童委員に伝えている。写真も多く掲載されており、子どもたちの活動の様子がよくわかる。今後も学校の様子や教育内容について情報発信していただきたい。
26	南部中のホームページを見たことがある。			90.4			